

日本色彩学会 色彩教材研究会のご案内

色彩教材研究会は、日本色彩学会学術委員会傘下の研究会として、色彩に関する学術・技術・芸術を教育するために利用する教材に関する知識を交換・研究し、教え方の改良を行い、教材の制作と普及を図るとともに、研究成果を社会に還元することを目的とする研究会です。

本研究会の正会員は、日本色彩学会の会員で、この会の目的に賛同して入会した個人としますが、日本色彩学会の非会員を準会員とすることもできます。

本研究会は、前記の目的を達成するために次の研究的事業を行います。

- (1) 研究発表会・研究講演会
- (2) 教材制作実習講座
- (3) 教材制作通信講座
- (4) 会報の発行
- (5) その他目的を達成するために必要な研究的事業

■幹事会の構成

主査：永田泰弘

幹事：網村眞弓・江副好美・小迫由里加・桜井輝子・竹下友美

監事：井澤尚子

顧問：垣田玲子・北畠耀・黒川和夫

■発足：1997年

■会員数：118名(2014年2月現在)

■入会方法：日本色彩学会会員であることが条件で、幹事あてに申し込んでください。

■色彩教材研究会の運営方針（2013・2014年度）

色彩教材研究会幹事会は、以下のような方針にもとづき運営しますので、会員皆様の積極的なご参加、ご協力をお願い申し上げます。

●運営コンセプト

「色彩教材研究の深化と依存から自主・共助へ」

受け身の観客から脱して、自分たちが主役となり、教材を作り、互いに共有する活発な研究会にしていきたいと思います。

研究グループと名付ける、以下のような性格の分科会活動を中心にした活動に転換します。

1. 研究グループの分類

- 1) 研究テーマ別グループ 2) 制作教材別グループ 3) 地域別グループ
- 4) ワークショップ別グループ 5) イベント別グループ

2. 研究グループの内容

- 1) 研究グループは最低3名から構成します。(最大7名くらい)
- 2) 研究グループは自主的な発意による届出制により設置します。
- 3) 研究グループのリーダーは色彩教材研究会員にします。
- 4) 他のメンバーは所属を問いません。非学会員でも構いませんがその場合は、その人を色彩教材研究会准会員と称します。
- 5) 成果は、研究発表会で発表していただきます。
- 6) 研究グループの終了時も自主的な届出制によります。
- 7) 成果の教材は、欲しいと考える学会員や一般の人に有料頒布が可能です。
- 8) グループの運営費用は、原則として自己負担または有料頒布による収入をあてていただきます。
- 9) それらの収支は、原則として色彩教材研究会の収支とは無関係とします。
- 10) 頒布する教材は、著作権侵害にご注意ください。
- 11) 頒布する教材には、日本色彩学会と色彩教材研究会の名を入れないようお願いいたします。

3. 研究グループ設置の手順

- 1) 《色彩教材研究会研究グループ設置届出書》に従って届出書を作成し、主査宛にメール送信してください。
- 2) 幹事会で届出書を受け取りましたら、日本色彩学会のホームページに掲載依頼を致しますので、色彩教材研究会の頁を確認してください。
- 3) ホームページに掲載された研究グループへの参加希望者は、主査まで連絡してください。主査はリーダーに取り次ぎます。
- 4) メンバー採用の可否はリーダーに一任します。

色彩教材研究会の活動年表

2014.6.23

No.	年度	種別分類	タイトル	講師
1	1997	解説講座	墨書のある近世の染織	丸山伸彦
2	1997	解説講座	色彩感性の原点を探る	海本健
3	1998	制作講座	P.C.C.Sをマスターするために	永田泰弘
4	1998	制作講座	スペクトルがわかる分光分布	永田泰弘
5	1998	制作講座	色対比と同化効果の図	松家雄一
6	1998	解説講座	光の反射・吸収と同化のしくみ	北島耀
7	1998	制作講座	条件等色対を作る	永田泰弘
8	1999	制作講座	日塗工標準色見本帳を使った 類似色相面による色立体	永田泰弘
9	1999	制作講座	ハーモニックカラー201Lを使った 類似色相面による色立体	永田泰弘
10	1999	制作講座	扇風機を改造して 回転混色機を作ろう	永田泰弘
11	1999	制作講座	ミニ色立体の作成	永田泰弘
12	1999	制作講座	色彩古典書解説教材ーニュートン	北島耀
13	2000	制作講座	ゲーテとその時代の 古典的色彩論解説教材	北島耀
14	2000	解説講座	もうこわくないXYZ	北島耀・松家雄一
15	2000	制作講座	XYZ表色系の色立体をつくる	松家雄一
16	2000	制作講座	マンセル・エクササイズ	北島耀
17	2000	解説講座	PCCSの活用(1)ー表色系の構造	永田泰弘
18	2000	解説講座	PCCSの活用(2)ー配色の基本類型	松家雄一
19	2000	通信講座	回転混色器と混色円盤の制作	永田泰弘
20	2000	通信講座	PCCSの活用(1)ー表色系の構造	永田泰弘
21	2000	制作講座	マンセル表色系掛図	北島耀
22	2001	解説講座	ここが変わったAFT2級テキスト	松家雄一
23	2001	解説講座	早わかり東商XYZー大島流ー	大島未有希
24	2001	解説講座	自動配色の原理と教え方	北島耀
25	2001	実習講座	色差を理解するために	松家雄一
26	2001	制作講座	三属性から分光分布を、分光分布から 三属性を解説する教材を作ろう	永田泰弘
27	2001	制作講座	変わる色の見えが体験できる 教材を作ろう	松家雄一
28	2001	通信講座	分光分布図の制作	永田泰弘
29	2001	通信講座	色は変わる	永田泰弘
30	2001	通信講座	PCCSトーン別色相環	永田泰弘
31	2001	通信講座	条件等色対セット	永田泰弘
32	2001	通信講座	ヨハネス・イッテンの色彩調和円盤	永田泰弘
33	2001	通信講座	条件等色対D65	永田泰弘
34	2002	実習講座	ヘアカラーの色彩学～美容と色彩	黒川和夫
35	2002	制作講座	イッテンの色彩調和掛図を作る	松家雄一
36	2002	解説講座	表色系集成～9種のカラーシステムー	永田泰弘
37	2002	解説講座	JIS系統色名掛図～ JIS Z 8102「物体色の色名」対応	北島耀
38	2002	解説講座	色彩学三大古典解題 ～「色の旅3000年展に寄せて」	北島耀
39	2002	制作講座	色の面積効果～教え方を考える	永田泰弘
	2002	実習講座	I.C.M.(一生色彩修練法)による ～配色実習	松永一生
40	2002	通信講座	色の旅3000年展記念図版セット	永田泰弘
	2003	実習講座	ムーン&スパンサーの “美度計算”を理解する	松家雄一
41	2003	制作講座	同じ色の組合せで配色効果を変える	松家雄一

42	2003	解説講座	基礎からわかるXYZ表色系	北島耀・松家雄一
43	2003	制作講座	基本配色・慣用配色・調和色彩の 相互関係が一目でわかる 「配色類型総覧」をつくる	松田陽子
45	2003	実習講座	Excelで学ぶ色差のための 表色系と計算	松家雄一
46	2003	実習講座	色彩を教えるためにパソコンを 活かそう～パワーポイント入門	永田泰弘・萩原京子
47	2003	実習講座	色彩を教えるためにパソコンを 活かそう～パワーポイント入門(再)	永田泰弘・萩原京子
48	2003	通信講座	ムーン&スベンサーの美度と 調和館は相関するのだろうか	永田泰弘
49	2004	実習講座	色彩を教えるためにパソコンを 活かそう～パワーポイント入門(再々)	永田泰弘・萩原京子
50	2004	実習講座	パワーポイント～一歩進んだ入門講座	永田泰弘・萩原京子
51	2004	実習講座	マンセル値の視感測色実習	永田泰弘
52	2004		スキンカラーとヘアカラーの色彩学	北島耀・黒川和夫
53	2004	制作講座	マンセル表色系の100色相環を作る	北島耀
54	2004	制作講座	マンセル表色系の100色相環を作る (第1回開催)	北島耀
55	2004	制作講座	マンセル表色系の100色相環を作る (第2回開催)	北島耀
56	2004	制作講座	マンセル表色系の100色相環を作る (第3回開催)	北島耀
57	2004	通信講座	リバイバルPCCストーン別色相環	永田泰弘
58	2004	通信講座	PCCSの初歩～CD付き	永田泰弘
59	2004	通信講座	PCCSの配色演習～CD付き	永田泰弘
60	2004	発表会	第1回研究発表会	
61	2005	見学会	絵の具工場見学・絵の具作り体験	岩崎友敬
62	2005	解説講座	シリーズ 検定受験対策講座の 教え方(1)	北島耀・永田泰弘・ 大島未有希
63	2005	解説講座	シリーズ 検定受験対策講座の 教え方(2)	北島・永田・遠山令子・ 荒木紀久子・宮崎敬子
64	2005	解説講座	シリーズ 検定受験対策講座の 教え方(3)	北島耀・垣田玲子・ 松田陽子・内田滋子
65	2005	講演会	創立10周年記念 特別講演会	北島耀・杉山久仁彦
66	2005	発表会	第2回研究発表会	
67	2006	実習講座	混色と色差	永田・三ツ塚由貴子
68	2006	見学会	ミサワ・パウハウス・コレクション	杉田佳穂
69	2006	制作講座	NCS製演習教材の制作と解説	宮崎敬子
70	2006	制作講座	系統色名の教え方と マイ・カラー・パレットの制作	永田泰弘
71	2006	発表会	第3回研究発表会	
72	2007	実習講座	色彩の心理効果の演習を交えた教え方	永田・三ツ塚由貴子
73	2007	見学会	ナショナルセンター東京～講演と見学	岩井彌
74	2007	実習講座	検定対応 ファッションタイプと イメージカラーコーディネート の教え方	内田滋子
75	2007	制作講座	PCCストーン別色相環の 制作演習とカラーイメージ	永田泰弘
76	2007	発表会	第4回研究発表会	
77	2008	実習講座	測光・測色の基本と実習	松井英幸
78	2008	実習講座	やさしいSD法入門 心理測定の基礎	落合信寿
79	2008	解説講座	ユニバーサルデザインの 配色検討のための提案	永田泰弘

80	2008	解説講座	見て納得!!身近な色のスペクトル ～簡易分光器を使ってみよう	田中和浩
81	2008	解説講座	実用色見本帳の戦後史 ～忘れられた現物を中心に	北畠耀
82	2008	研究会	XYZ表色系指導研究 (4回)	宮崎敬子
83	2008	発表会	第5回研究発表会 (発表10件)	
84	2009	解説講座	やさしい研究の進め方	永田泰弘
85	2009	解説講座	やさしいL*a*b*の教え方(理論編)	松井英幸
86	2009	実習講座	やさしいL*a*b*の教え方(実習編)	木原史登
87	2009	解説講座	やさしいオストワルト表色系の教え方	永田泰弘
88	2009	解説講座	やさしいNCSの教え方	宮崎敬子
89	2009	解説講座	マンセル著「色彩の表記」の成立事情	日高杏子
90	2009	解説講座	マンセルをめぐる諸問題	北畠耀
91	2009	発表会	第6回研究発表会 (発表8件)	
92	2010	解説講座	手作り教材・匠の技 “JIS系統色名パネル”を題材に	北畠耀
93	2010	解説講座	色彩におけるユニバーサル デザインの考え方	竹下友美 永田泰弘
94	2010	ワーキングG	モンジュノーチェ@モチヨローカイ	田中和浩
		発表会	第7回研究発表会 (発表7件)	
95	2011	解説講座	色名と色材からみた日本の文化 ～前編	永田泰弘
96	2011	解説講座	色材教材制作の情報発信～その1	田中和浩
97	2011	解説講座	色名と色材からみた日本の文化 ～後編	永田泰弘
98	2011	解説講座	色材教材制作の情報発信～その2	田中和浩
99	2011	制作講座	マンセル表色系等色相面(5YR) ～特注色票147色によるA2判パネル	北畠耀
100	2011	制作講座	再・マンセル表色系等色相面(5YR) ～特注色票147色によるA2判パネル	北畠耀
101	2011	発表会	第8回研究発表会 (発表7件)	
102	2012	制作講座	マンセル表色系等明度面 3面の制作講座～特注色紙175色	北畠耀
103	2012	制作講座	表色系三種の色相環と等色相面 制作講座～塗装色票284色	永田泰弘
104	2012	実習講座	ヘアカラーと色彩の関係を理解する	黒川和夫
105	2012	ワーキングG	モンジュノーチェ@モチヨローカイ	田中和浩
106	2012	発表会	第9回研究発表会 (発表6件)	
107	2013	解説講座	デザインと色材のかかわり ～彩色・加飾のための材料	竹下友美
108	2013	発表会	第10回研究発表会 (発表8件)	

■主査就任のご挨拶

吉澤前主査の後を継いで、色彩教材研究会主査を引受け、幹事全員交替の形で出発する事になりました。

三月二十四日に八十一歳の誕生日を迎えた老骨には荷の重い役目で、若くて有能な方に引き継いで頂きたかったのですが、皆様ご多忙なので手をあげました。無職の一人暮らしのため、暇だけはあるのが救いですが、歩行に難を生じ、眼は霞み、声量が落ち、言語不鮮明になり、記憶力が極端に悪化して、惚けや認知症の藪に踏み込んできた近年です。

学会の会勢が低下する中、色彩教材研究会の原点に戻った活動を模索して行きたいと考えています。研究会は皆で盛り上げて行くものです。

各自が主役と認識して自発的に活動を盛り上げ、稔りの多い研究会に育ててください。 (永田泰弘)

●2017年度 活動計画

本年度の色彩教材研究会の活動計画は以下の通りを予定しています。

勉強会は東京以外の地で、地元の研究会会員に自発的に開催していただく新しい企画です。

- 1、研究会総会（3月） 一回開催
- 2、研究会大会（11月） 参加
- 3、カラーチャットセッション 五回程度開催
- 4、研究プロジェクト
「文学作品と色名」 発足
- 5、講演会「論文の書き方 開催 三研究会合同・関東支部後援
- 6、勉強会 地方にて個々に開催
- 7、幹事会 数回開催
- 8、色彩教材研究会通信
No. 21 から 12回以上送信
- 9、その他の活動（未定）
- 10、会計監査 一回開催
- 11、学術委員会報告 一回

◆本年度研究会交付金

2017年度の色彩教材研究会に対する研究会活動交付金が、昨年度と同額の 97,000 円に決りました。

昨年度の支出金総額が 197,086 円でしたので、心細い限りです。

有料イベントの参加者数を、50人台に倍増しないと、研究会の運営が破綻しますので、積極的なご参加をお願い致します。

◇お知らせ：色彩教材研究会幹事を募集します。日本色彩学会員で原則は東京近郊の方ですが、遠隔地の方は、その周辺での活動を役割といたします。

nagataya@jcom.zaq.ne.jp 永田宛

●● 色彩教材研究会の会員募集 ●●

主査または幹事宛にお伝えください。申込書を送ります。共に楽しめる研究会を目指しています。

■今年度の研究会役員構成

今年度の役員は以下の通りです。
永田主査（新）：全体の統轄・総務
「研究会通信」の発行・広報事務
三本幹事（新）：活動企画担当
小高幹事（新）：活動企画担当
渡邊幹事（新）：会計担当
塚本幹事（新）：勉強会管理担当
井澤幹事（留）：決算の監査担当
垣田顧問（留）：会員管理担当
北島顧問（留）：活動企画担当
黒川顧問（留）：ヘアカラー担当

今年度は主査と四幹事が交替になりましたので、長年にわたり本研究会の運営に携わってこられたベテランの旧幹事が、会員の立場からフォローして頂ける体制で運営していきます。地方の活性化を重視した活動を模索しながら展開していきます。

幹事の枠は十人あり幹事を募集していますので応募をお願いします。

●勉強会サークルの展開

勉強会サークルは、過去のカラーチャットセッションのデータや研究会会員から提供された色彩教材の電子データを利用して、市区町村単位に色彩教材研究会員がリーダーになり、2名以上のサークル作り、自主的に勉強会を開催し運営することにより、東京等での研究会活動に参加出来ない岩手から沖縄に至る広範囲に分布する色彩教材研究会員が色彩関連の興味ある事柄を自発的に教育し勉強できるサークル活動です。

幹事会が行う事は、色彩教材の電子データ（パワーポイント等）を寄付の形で集め、ストックし、サークルリーダーの要請に応じて提供することと、学会員の中の専門家にアドバイザーになってもらい、サークルリーダーとの仲介をすることと、考えています。

◆リーダーの名乗りを

全ての色彩教材研究会員が、「リーダーになります」と名乗りをあげてください。メンバーはこれから色に興味をもってくれそうな近くに住む一般の人を対象にしてください。

学校の先生は色彩クラブを作ってください。

◆不要の電子データを寄付して！

お手元にある不要の色彩教材になる電子データを寄付してください。

知的所有権に触れないもので、色彩の原理等を優しく説明するものやビジュアルなものを歓迎します。

nagataya@jcom.zaq.ne.jp 永田宛

●●色彩教材研究会の会員募集●●

主査または幹事宛にお伝えください。
申込書を送ります。共に楽しめる研究会を目指しています。

■新プロジェクト発足

自宅で出来る研究会活動として、新プロジェクト「文学作品と色名」を発足させました。

色名は文字で表現した色彩です。明治以降の文学作品に使われている色名を含む用例を調べて、基礎データを創り、データを共有して、色々な考察をして頂こうというプロジェクトです。

原則として著作権が切れた没後五十年以上の作家を対象とします。

参加を希望される方は、永田までお知らせください。色名抽出の方法や、既に抽出調査が完了した作品のリスト・調査例などを送ります。

作業はパソコンのワードを使えることが条件です。

全員のデータは共有ですが、外部発表は、作成者に連絡してから行いましょう。

◆調査済みの文学作品

坪内逍遙：当世書生気質・細君。二葉亭四迷：浮雲。尾崎紅葉：金色夜叉。泉鏡花：外科室・照葉狂言・湯島詣・婦系図。齋藤緑雨：油地獄。樋口一葉：十三夜・にごりえ・たけくらべ。廣津柳浪：今戸心中。内田魯庵：くれの廿八日。夏目漱石：坊ちゃん・吾輩は猫である。森鷗外：高瀬舟・山椒太夫・天寵・舞姫・雁。芥川龍之介：老年・鼻・手巾・世之介の話・或日の大石内蔵助・蜘蛛の糸・舞踏会・杜子春・老いたる素戔鳴尊・好色。

◆調査中の文学作品

島崎藤村：破戒。宮崎賢治：雁の童子・グスコープドリの伝記・銀河鉄道の夜。林芙美子：放浪記。

◆上記の作品以外を選んで申請してください。早い者勝ちです。

◆五分類の用例

色名を含む用例（前後の言葉）は抽出に際して、以下の五色に変換して分類します。

- 1) 女性の着物、装身具、持ち物などは赤色の文字にする。
- 2) 男性の着物、装身具、持ち物などは青色の文字にする。
- 3) 人物の肌の色や髪や鬚や化粧などは茶色の文字にする。
- 4) 自然を描写している場合は緑色の文字にする。
- 5) その他の色の表現の場合は黒色の文字にする。

◆不要の電子データを寄付して！

お手元にある不要であるが、色彩教材になる電子データが有れば寄付してください。知的所有権に触れないもので、色彩の原理等を優しく説明するものやビジュアルなものを歓迎します。

nagataya@jcom.zaq.ne.jp 永田